

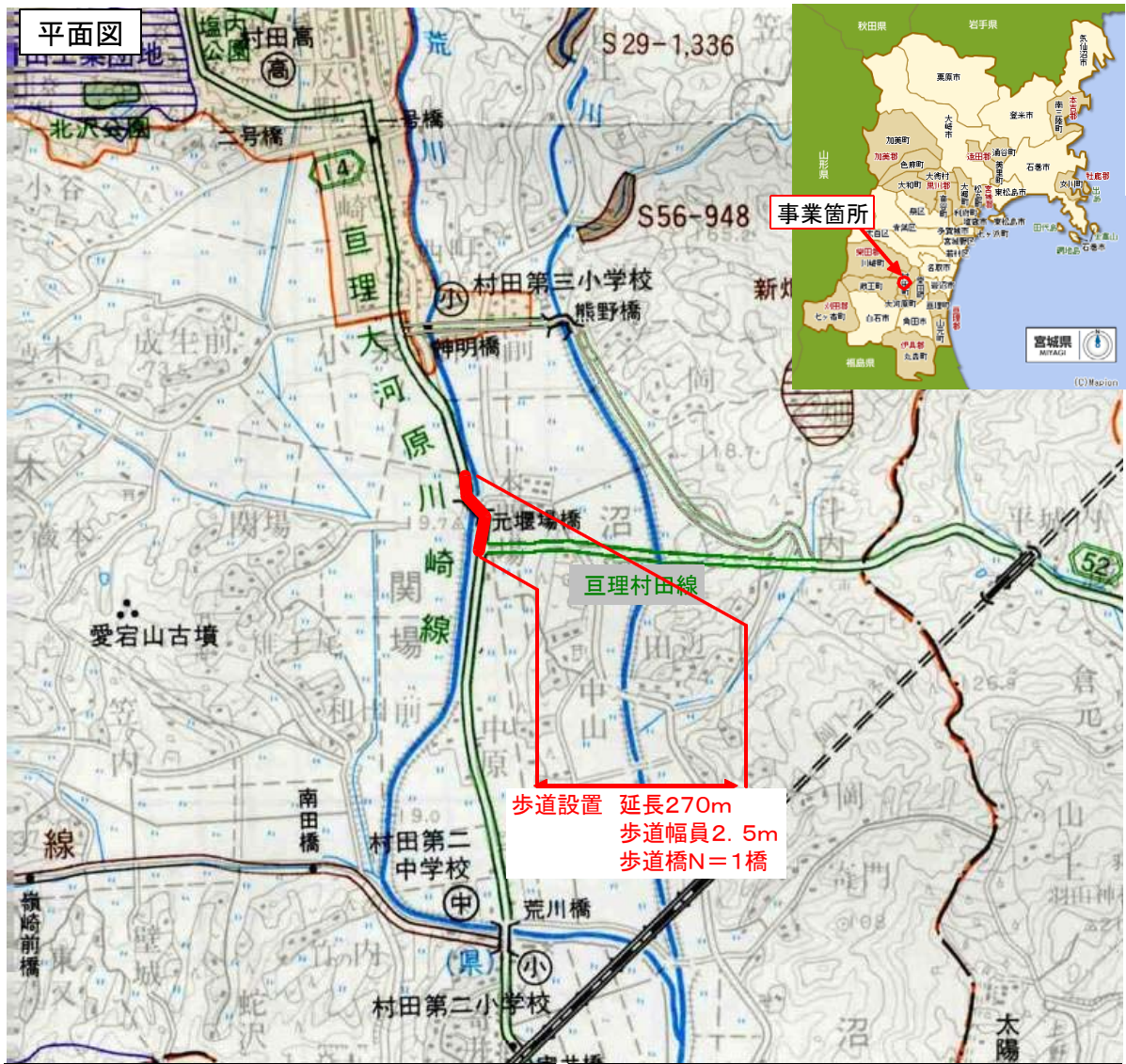
## 新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年2月7日																						
		事業担当課		道路課																						
事業名	交通安全施設等整備事業 <small>わたりおおかわらかわさき</small> 主要地方道亙理大河原川崎線		補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																				
施行地名	<small>しばたぐんむらたまちもとせきば</small> 柴田郡村田町本関場地内			管理主体	宮城県																					
根拠法令	道路法																									
事業	<b>事業目的</b> ○ <small>わたりおおかわらかわさき</small> 主要地方道亙理大河原川崎線は、 <small>わたりちよう いわいだ</small> 亙理町字祝田の国道6号線との交差点を起点とし、 <small>かくだし おおがわらまち しばたまち むらたまち かわさきまち</small> 角田市・大河原町・柴田町・村田町・川崎町の主要地を結ぶ、全延長38.6kmの仙南地区の重要路線である。又、東北縦貫自動車道村田ICと国道4・6号線及び角田市 <small>しばたまち</small> や柴田町の工業団地とを結ぶ流通の重要なアクセス道路ともなっている。 当該箇所は、現況交通量7,365台/12hの内、大型車類が1,043台/12hとその14%を占める交通状況であるが、その区間内にある元堰場橋は、昭和40年2月に供用開始した橋長L=37.0mの3径間単純プレテン床版橋であり、有効幅員6.0mと道路構造令の最小幅員6.5m以下で大型車の相互交通も難しく、その中で97件/(H14～18:19.4件/年)もの交通事故が発生し、自転車歩行者の通行に危険な状況である。 これらのことから、当該区間に歩道を整備し、児童・生徒の安全な通学路と沿線住民の利便性の確保を図るものである。																									
	<b>事業内容</b> ○歩道整備 延長L=270m, 歩道幅員W=2.5m, 歩道橋N=1基(L=25m)																									
の	<b>事業費</b>																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ( )</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内用地費</td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ %]</td> <td>[ %]</td> </tr> <tr> <td>2.5 億円</td> <td>0.5 億円</td> <td>1.25億円</td> <td>1.25億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> </table>					全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ( )		内用地費	[ 50 %]	[ 50 %]	[ %]	[ %]	2.5 億円	0.5 億円	1.25億円	1.25億円	億円
全体事業費		費用負担内訳																								
		国	県	市町村	その他 ( )																					
	内用地費	[ 50 %]	[ 50 %]	[ %]	[ %]																					
2.5 億円	0.5 億円	1.25億円	1.25億円	億円	億円																					
概	<b>事業期間</b>																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="4">平成23年度～平成27年度(5年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成24年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td colspan="2">平成25年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成23年度～平成27年度(5年間)				用地買収着手予定年度	平成24年度	工事着手予定年度	平成25年度												
	事業期間	平成23年度～平成27年度(5年間)																								
用地買収着手予定年度	平成24年度	工事着手予定年度	平成25年度																							
<b>施設管理の予定</b> ○道路管理者である宮城県が維持管理を行う。																										
要																										

事業の必要性	上位計画等	○土木行政推進計画 宮城県土木部（平成13年策定、平成22年3月部分改定）
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>主要地方道<sup>わたりおおかわらかわさき</sup>亘理大河原川崎線は、現況交通量24,771台/12hの東北縦貫自動車道<sup>むらた</sup>村田ICと国道4・6号線を結ぶアクセス路となっている路線であり、角田市や柴田町の工業団地と東北縦貫道を結ぶ流通の重要路線（現況交通量7,365台/12h）ともなっている。さらに97件/（H14～H18：19.4件/年）の交通事故が発生するなど児童・生徒の安全な通学路の確保が強く望まれている。なお、計画区間は学校指定の通学路となっている。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>地元からは、歩道の整備について毎年要望がある。</p> <p>整備区間内にある元堰場橋<sup>もとせきばし</sup>は、通行車両が多いにもかかわらず幅員が狭く歩道も無い状況である。その為、児童・生徒のみならず歩行者・自転車は、元堰場橋<sup>もとせきばし</sup>下流にある高欄も無く幅員も狭い仮設橋を利用して通学・バス停に向かっており、早急な安全確保が必要な状況である。</p> <p>要望書 「主要地方道亘理大河原川崎線整備促進期成同盟会」 平成22年7月29日 他3団体</p>
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>当該区間に歩道設置を行うことにより、村田第二小学校・村田第二中学校・隣接町村の高校へ通学する児童・生徒の安全確保が図られる。</p> <p>又、路線バス停へのアクセスの安全確保が図られるとともに、みやぎ県南中核病院への通院等の利便性が向上する。</p>
	関連事業の概要・進捗状況等	○交付金事業（橋梁補修） 元堰場橋（平成22年度完了予定）
事業の効率性	代替案との比較検討	<p>○自動車交通量、自転車・歩行者交通量から歩道幅員は2.5mとして計画を行う。</p> <p>○道路沿線の土地利用状況、歩道の連続性から、片側歩道として計画を行う。</p>
	コスト縮減計画	<p>○盛土材料については、他工区からの流用土の活用を検討し、コスト縮減を図る。</p> <p>○路盤・舗装材料については、リサイクル材料を使用し、コスト縮減を図る。</p>
事業の有効性	費用対効果	○事業効果を数値化することが困難であり、費用対効果は算出していない。

環境への影響と対策	地域指定状況等										
		○特になし									
影響と対策											
		○自然環境や沿線の生活環境に配慮し，地形改変を極力抑えた整備を行う。									
総合評価	事業箇所評価結果										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通安全施設等整備事業 (新規事業箇所)</td> <td></td> <td>———</td> </tr> <tr> <td>1位 / 1</td> <td>1箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	交通安全施設等整備事業 (新規事業箇所)		———	1位 / 1	1箇所	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	交通安全施設等整備事業 (新規事業箇所)		———								
1位 / 1	1箇所										
対応方針											
		○事業実施									

主要地方道 互理大河原川崎線 本関場 交通安全施設等整備事業



現況



現況